

夢洲・咲洲地区まちづくりの工程表に対応した具体的な取組み

22年2月のまちづくり工程表対象事業（予算計上事業）
 22年2月のまちづくり工程表対象事業（予算計上外）
 新たな取組み(環境施策の展開など)
 は関連事業・施策

	平成21年度の取組み	平成22年度の取組み
アクセス改善 <H21年度> 約4.4億円	<咲洲トンネル利用料金の無料化> 普通車の通行料金を200円から100円に減額（10月）（咲洲トンネルのシステム改良）	（別紙2参照）
<H22年度> 約1.5億円	<中央線等の乗り継ぎ、終電ダイヤの適宜見直し・検討など> 地下鉄中央線との間の乗り継ぎ利便性向上のため、ニュートラムのダイヤ改正（3/20） 案内板の充実については、阿波座駅にて、案内誘導を実施（千日前線から中央線への乗換案内を床面に号線カラーで表示）	需要の動向についての検討を引き続き行う 案内板の充実については、引き続き検討を進め、案内板等の充実を図る
	<ペDESTリアンデッキの整備> コスモ中央線部の本体・エレベーター整備、平面歩道の整備（コスモスクエア駅から住宅を経てWTCに至る東ルートのコスモ中央線横断部分までの約350m、コスモ中央線横断部分先の平面歩道約250mが5月末完成予定）	（別紙2参照）
	<大型車の渋滞緩和策> 咲洲地区西側（R岸壁、C6,7岸壁）から夢洲地区へのコンテナ航路の移転（22年3月末完了） 咲洲東コンテナ埠頭背後地における車両待機場の整備（22年3月末完了） 国際フェリーターミナル背後地におけるコンテナ車両待機場の整備（22年3月末完了） 入港料の減額については、咲洲から夢洲へコンテナ航路を移転した船社を対象に入港料減免措置を実施（1月～） 昼休み時間帯のゲートオープン時間の一部延長（C9、DICT 1月～）	国際フェリーターミナルにおけるヤード拡張工事（第3四半期完了予定） 引き続き、入港料減免措置を実施（4月～3月） ゲートの処理能力向上のため、引き続き港運事業者に対し昼休み時間帯のゲートオープン時間の延長を協議 夢洲コンテナ埠頭での荷役機械の増設
	<阪神高速道路信濃橋渡り線の新設> 道路管理者である大阪市は、阪神高速による事業化を同意（9/17）	現在は、阪神高速が事業許可申請に向けて調整中であり、国からの申請承認後、速やかに着工

	平成21年度の取り組み	平成22年度の取り組み
企業誘致・産業振興 < H21年度 > - < H22年度 > 約39.3億円	< 府・市・経済界による「企業等誘致協働チーム」の設置 > 協働チームの設置(10/29) 現地見学会の実施(11/26) 企業ニーズアンケートの実施(2~3月) 個別企業への誘致活動 など	既存制度〔咲洲コスモスクエア地区立地促進助成制度〕の活用（対象事業者件数3件を見込む） PRツールの作成により企業等の立地促進、先端産業誘致に向けたPR活動を展開 見学会等プロモーション活動の実施 環境・新エネセミナーの開催(5/26) 優遇制度の検討、個別企業への誘致活動
	< 新たなインセンティブの創設及び税制特例措置等の実現 > 国に対し「成長戦略拠点特区」をめざした構造改革特区提案(3/31)	税制上の優遇措置等を総合的に講ずる経済特区の実現に向けた検討・制度設計
	< 咲洲地区における規制緩和 > 地権者等との協議・調整	地権者等との協議・調整を行い、地区計画の変更等を検討
	< コンテナ物流の夢洲移転 > 夢咲トンネル供用開始（8月） 夢洲コンテナ埠頭3パース一体運用開始（10月） 咲洲地区西側（R岸壁、C6,7岸壁）から夢洲地区へのコンテナ航路の移転（22年3月末完了）〔再掲〕	夢洲コンテナ埠頭整備（夢洲コンテナターミナル（株）への貸付金事業）；荷役機械〔ガントリークレーン2基、トランスファークレーン2基〕発注（第1四半期） 埠頭会社（埠頭公社の株式会社化）による港湾経営の効率化；株式会社化のための受け皿会社設立（第3四半期） 夢洲土地造成事業の推進；水道管設計及び整備、雨水管設計及び整備の実施
	< 国際コンテナ戦略港湾選定に向けた取り組み > 阪神港国際コンテナ戦略港湾促進協議会発足(2月) 目論見書提出（3月）	応募者プレゼンテーション（4月） 目論書の再提出（5月） 再プレゼンテーション（5月） 選定（6月頃）
コンベンション機能の強化 < H21年度 > - < H22年度 > 約0.2億円	< 見本市・コンベンション誘致など総合的な取り組み > インテックス大阪のより効果的・効率的な運営方法の検討（運営組織、運営スキームなど）	コンベンション機能強化を検討する府・市・経済界共同チームでの議論に向け、インテックス大阪のあり方について大阪市としての考えを提示できるように検討を進める コンベンション誘致活動の展開については、海外セミナー・国際展示会出展などの海外PR活動への職員派遣や、海外キーパーソン招聘事業、国際会議協会（ICCA）などの海外機関、海外専門家、日本政府観光局（JNTO）とのネットワーク等を活用した、ベイエリアを含む国際会議の誘致活動の展開 7/14にATCホールで開催の決まったJapan MICE Year記念シンポジウムに合わせ、ベイエリアにおけるコンベンション機能をPRする

	平成21年度の取り組み	平成22年度の取り組み
その他	< 市部局の移転・整備 >	経済局・環境局の移転（1月予定）
< H21年度 > 約6.6億円	< 観光ネットワークの構築 >	本市が誘致し、ATCに設置された(4月) UNWTOアジア太平洋センターを支援するAPTECとアジア太平洋観光交流センター事業を展開し、アジアを中心とした観光交流の促進と観光振興に取り組む 府・市・経済界による勉強会を開催し、観光メニューなどを検討
< H22年度 > 約16.4億円	< 賑わいと憩い空間の創出 > R岸壁フェリー対応化などの埠頭再編の推進に向け、フェリー利用促進に対する助成 咲洲地区防災機能強化に向け、基本方針の策定 道路等の基盤整備については、案内板58枚の改良工事、キャナル運河のスロープ整備（東側）などの実施 地区のにぎわい創出に寄与するATCの壁面を利用した大型ビルボードサインの掲出事業 咲洲トンネル耐震対策の完了（22年3月末完了）	R岸壁フェリー対応化などの埠頭再編の推進に向け、冷凍コンテナ設備など旧コンテナ埠頭施設の撤去工事の実施 災害時の応急対策活動の円滑化の観点から、南港大橋附近において津波の浸水防止対策のための設計 道路等の基盤整備については、案内板58枚の改良工事、キャナル運河のスロープ整備（西側）などの実施 川と海をつなぐ舟運にぎわいまちづくり事業として、市民イベントを様々な舟運でつなぐ官民連携イベントの実施（第3四半期予定）
	< 国際的な公的機関の誘致 > 東京にて外国政府のためのプロモーションセミナー実施(2/8、30カ国参加) 各国政府・大使館等への個別プロモーションの実施(中国総領事館など)	現在、複数の諸国と領事館の誘致を協議中 大阪魅力を発信するため、東京にてプロモーションセミナー開催予定（第4四半期予定）
	新たな取り組み< 環境施策の展開 >	咲洲地区における再生可能エネルギー利用拡大に関する検討調査；公共施設等の未利用空間での民間事業者の事業機会を提供するための太陽光パネル設置箇所の技術的検証などの実施 夢洲等における太陽光発電等導入調査；民間事業者と連携した太陽光発電システムの導入方策調査の実施（5月中に事業企画提案の登録受付） 電気自動車2台導入、市内10ヶ所への倍速電気スタンドの設置 低炭素型交通システムの普及促進に向け、電気自動車10台を活用したカーシェアリングモデル事業の実施

*事業費計

< 21年度 > 約11.0億円

< 22年度 > 約57.4億円